

SHIN CLUB 190

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「カルツエドニア新宿ビル」 撮影：イマダフォトサービス

社長年頭挨拶

新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

おかげさまで、本誌も創業以来 16 年間欠かすことなく発行することができました。これもひとえに、お客様、特に建築家の先生方に様々な面で支えて頂きました賜物と厚く御礼申し上げます。

当社は、手がけさせていただきました建築のほぼ全てを“こだわり建築”に特化したことで、多くの先生方からご指南を賜ることができました。その結果、作品の多くが建築雑誌に取り上げられ、「建築屋の辰」として一定の評価を得るに至りました。

また、創刊の頃に比べ、社員数は 2 倍、売上規模は約 3 倍に成長し、財務の面でも“健康診断書 (BS)”と“体力測定表 (PL)”共々健康で元気に活動させて頂いております。

いま、世界はあらゆる面で混沌としてきており、私には未曾有の建設不況の足音がすぐ近くで聞こえます。そのような状況も鑑み、本年より 2020 年に向けた「第二次中期 5 カ年計画」を始動し、社是である「信義は万事の基」を常に自問自答しながら、数値目標を達成してまいりたい所存です。

どうぞ皆様、これまで同様のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2016 年 元旦

株式会社辰 代表取締役 森村和男

カルツェドニア新宿ビル



文字情報であふれた街に、建築そのものの力を取り戻す

クライアントは、グローバルな活動を展開されている不動産投資会社である。建築デザインについても「その街で明確なコンセプトを持つ、インパクトのある建物を建てる」というこだわりを持っている。当事務所ではこれまで「ザ・ジュエルズオブアオヤマ(2005)」、「デビアス銀座ビルディング(2007)」、「ジ・アイスクューブス(2008)」などを設計しており、単なる「クライアント」と「設計者」という関係を越えて、ものづくりをしていくパートナーシップの関係を共有している。

今回の建物は、新宿の目抜き通りに面して「間口 4m、角地」という小さな敷地に建つテナントビルである。周囲は文字情報であふれた大きな看板建築が建ち並び、薄く高さ制限のあるプロポーションの今回の計画には、コントロールされた美学が求められた。(すなわち、内部空間の最大化、店舗利用空間の確保、縦横比の特殊な構造の解決、それらを限られた工事時間の効率的な利用で行うという厳しい条件である。)

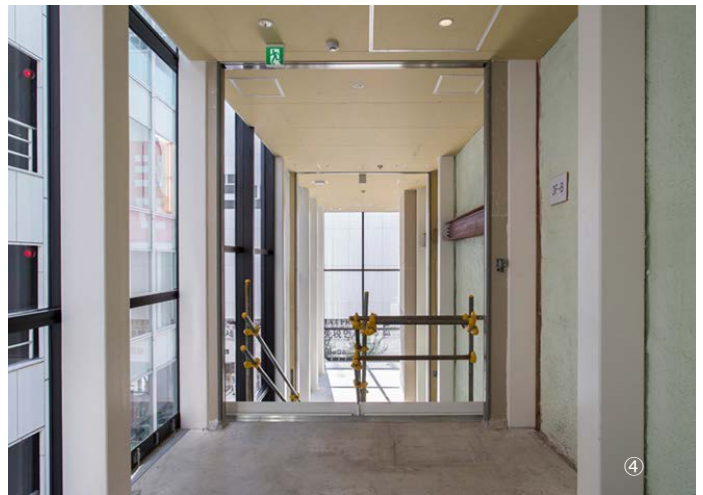
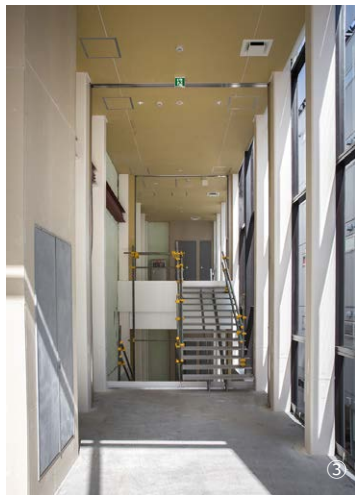
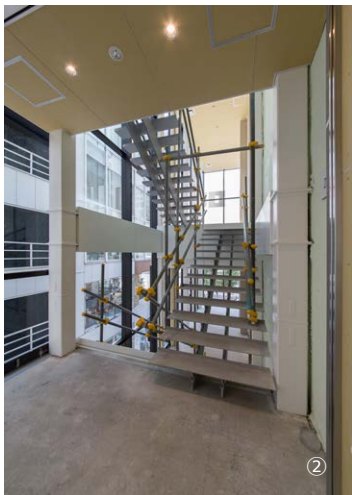
外観は、内部がよく見えるガラスファサードとしている。昼は小さいスカイスクレーパー、夜はランタン状の建物となって、周囲に存在感を示す。細長い内部空間は、スキップフロアになっており、前面道路に面する南側フロアの3階では 1.5 層の高さになる。吹き抜けの中央階段が店舗の回遊性を生み出し、店内をめぐる人の様子がよく見えるようになっている(写真②③は仮設階段)。

一般的に店舗は、街に対して、下層階から上層階に行くに従い認識しにくくなっていくものである。だが上層階にも魅力を持たせる必要がある。ここでは周辺の建物と高さを合わせるために工作物を設けて、看板ではなく建築のデザインで街並みを作ることを試みている。

この界限一帯では、建築的な魅力というよりは、むしろ店の名前そのものの文字情報で直接、外観を競っているものが少なくない。建物の情報を認知するときは、文字情報だけでは、実は遅い。建築は全体のデザインで作っていかなければならない。それがなければ建物、ひいてはその街の魅力そのものがなくなっていく危機感をおぼえる。

今回、入居されるのはファッションブランドであり、建物の表情として店舗内部の様子を見せることは重要なファクターとなる。その中での人々の動きこそが、外部へのメッセージとなり、人々のにぎわいをつくる。街本来の活気を見せるために、建築のデザインが街並みを作る可能性を再認識したい。

(光井純氏 談)



所在地：新宿区
 構造：S造(一部SRC造)
 規模：地下2階、地上3階、工作物
 用途：物販店舗
 設計・監理：光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所
 施工担当：岩本、川崎、鯨津
 竣工：2015年9月
 撮影：アック東京

①全景②中2階から3階方向を臨む。中央階段室の階段はテナント工事のため写真は仮設のもの③3階南側より奥を臨む④最上階から南側を臨む⑤最上階の上に設けられた工作物。設備関係のものを置くには十分なスペースを確保している⑥同、南側から臨む⑦工作物上方は開放されている



デビヤス銀座ビルディング
撮影：黒住直臣

Jun Mitsui



光井純氏 事務所にて 撮影：アック東京

今月は「カルツェドニア新宿ビル」を設計された、光井純氏にお話を伺いました。光井氏はご自身の設計事務所とアメリカで最も影響力のある建築家の一人、シーザー・ペリの日本事務所代表という日米2つの事務所を運営されています。

—建築家を目指されたきっかけは？

光井：大学入学時は建築家などという職業があることもよく知らなかったもので、専攻を選ぶときに1度は電子工学系の学科を選んだのです。ところが、総合科学として多彩な領域に携わることになる建築家という仕事を知り、絵を描くことも好きでしたので、翌年、専攻を受け直し、結局この道に進むことにしました。今ではよかったですと思っています。

当時の建築学科にいらした芦原義信先生から、大学院に行くにしてもいったん社会に出てからの方がいいと勧められ、卒業後は岡田新一先生の事務所です4年間お世話になり、その後イェール大学に留学しました。

アメリカの大学は研究室といっても実践的な教育を重視していて、設計や模型作りを24時間やり続ける、不夜城のような有様でした。フランク・ゲーリーやマイケル・グレイヴスなど、ポストモダン建築の錚々たる建築家たちが講師でいらしたのですが、中でも当時学部長だったシーザー・ペリがよく教室に見えて学生たちを気にかけてくれました。日本ではアメリカ大使館の設計者として有名ですが、私は「事務所でアルバイトをやってみないか」と誘われ、ペリの事務所ですその建築を目の当たりにしたのです。それが私の設計活動の礎となり、卒業後もシニアアソシエーツとして「シーザー・ペリアンドアソシエーツ」で仕事をするようになりました。

—ペリの事務所です学ばれた建築の考え方とはどんなものなのですか。

光井：ペリは、師であるイーロ・サーリネンの考えを引き継ぎ、「建築は『デザイン・レスポンス』という理念を下に、個人の美学を超えて、街並みの一部となって、成長していく生き物のようにとらえてデザインしていくものだ」と言われました。私も、その考え方を引き継いで、敷地を取り巻く自然環境や街並み、文化、歴史、関わる人々など多くの条件を活かして、的確な「レスポンス」を行うものだと思って、設計を行っています。

—その後、92年に帰国して、「ペリ クラーク ペリ アーキテツツジャパン / PCPA」の代表となり、95年ご自身の事務所「光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所 / JMA」も設立されたわけですが、ちょうど2015年11

月が設立20周年ということで、これまでの歩みをまとめた『BEYOND BOUNDARIES ~境界を乗り越えると“まち”は面白くなる~』を新建築社から上梓されたとのことですね。タワーマンションからリゾート施設、商業施設やオフィスビルなど、大きな物件を数多く手掛けられていて、一言でお尋ねするのも難しいのですが、2つの事務所を運営されて感じる日米の相違点はどんなところですか。

光井：双方に良い点、改善したい点があると思いますが、デザインプロセスが大きく違いますね。まず、日本のゼネコンのようなものはアメリカにはない。日本独自のスタイルです。施工面の管理の良さやチームワークは良いのですが、設計も含めてよくも悪くもゼネコン次第のところはあるので、以心伝心という日本独特の文化や「皆、昔からそうしていたから」という部分は海外から見れば、信じられない点かもしれません。

しかし、今後、特に2020年の東京オリンピック以後は、日本人も国内外で、海外の事業者と仕事をせざるを得なくなってくるでしょう。その時には的確なコミュニケーションを図るための語学力と、多文化を理解する柔軟な頭脳が不可欠になっていると思います。当事務所では、様々な国の人材を縦横無尽に配置しています。アメリカのペリ事務所にも日本からスタッフを配置し、さらに日本事務所にも外国人スタッフもいるというように、人材育成に重点を置いています。今後、アジア地域での都市計画、街づくりの機会が増えていくことを視野に入れて、情報収集を行い国際競争力を養っていきたいと思います。

—東京オリンピック以降の日本の建築環境は、どうなるのでしょうか。

光井：人口は減るので、ますますコンパクトシティ化が進むでしょう。また、昨今の海外からの訪日客数の増加を見ても、都市機能は24時間対応できるようなものになっていかねばならないでしょう。

特に私が着目しているのは、ウォーターフロントのデザインがまだまだヨーロッパやほかの国々に比べて立ち遅れているという点です。バンクーバーやシドニーの水辺のデザインを見てください。東京の水は世界的に見てもきれいだし、川もきれいです。観光面から都市資源として生かしていません。理由の一つに港湾行政の縦割りのシステムがあります。官民が一体となって進めるべき分野だと思っています。

—都市部の水辺が、もっと素敵な空間に生まれ変わると楽しそうですね。本日はどうもありがとうございました。

「建築、ランドスケープ、インテリアは単体でなく、一体的にデザインされることが重要です」

光井 純

1955年 山口県生まれ
1978年 東京大学工学部建築学科卒業
1978-82年 岡田新一設計事務所
1982-84年 イェール大学建築学科大学院修士号取得
1984-92年 ペリ クラーク ペリ アーキテツツにて勤務
1992年 ペリ クラーク ペリ アーキテツツ ジャパン代表取締役
1995年 光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所代表取締役
主な作品
日本橋三井タワー、東京国際空港(羽田)国際線地区ターミナル、デビヤス銀座ビルディング、ジ・アイスキューブ、パークシティ浜山、愛宕グリーンヒルズ、ほか



東京国際空港国際線旅客ターミナル
撮影：黒住直臣



芝浦アイランド 撮影：黒住直臣

『旭町診療所』が千葉市都市文化賞 2015 を受賞 12月20日 千葉市生涯学習センター

2015年3月に弊社が竣工した「旭町診療所」、が、「千葉市都市文化賞 2015」の建築文化部門で入選、千葉市より表彰されました（設計：田邊曜+木下道郎ワークショップ）

千葉市では、昭和63年度から、都市景観形成に寄与していると認められる優れた建築物を表彰することにより、建築文化の向上と魅力ある街づくりに資するため、千葉市「優秀建築賞」を実施しました。平成23年度からは景観法の制定や千葉市都市景観条例の改正を契機とし、より幅広い良好な景観形成を実現するため、優秀建築賞をベースに名称を「千葉市都市文化賞」と改め、

平成27年度は、表彰部門を「景観まちづくり部門」・「景観広告部門」・「建築文化部門」の3部門としています。

審査講評は「住宅地の中にあられる妻屋根型のフォルムの白い診療所は、中に入ると、外部空間を取り込みながらふくらむ空間が暖かさを感じるものになっている。光をともし夕刻や夜間の方がこの建物をより魅力的に見せるかもしれない（選考委員会コメント途中抜粋）」とのことでした。

関係者一同、評価いただいたことを心の糧にこれからも良い建物づくりを心がけてまいります。



①旭町診療所全景 撮影：平賀哲



②表彰を受ける施主の田邊節子様



③受賞者記念撮影

建物の詳細は
ShinClub183を
ご覧ください。
www.esna.co.jp/

「社内 イノベーション発表会」 12月5日

12月の社内勉強会は、全社員の創意工夫で会社をより良くすることを目的に、グループによるイノベーション発表会が実施されました。

日頃、自分の仕事について感じていることや、社内全体を見回して考えられる改良点について、グループ別に研究して発表するというものです。今回は、最優秀賞、優秀賞など賞を設け、賞金も用意するとともに、各グループ4票の持ち票による相互投票という公平性もあり、皆、意欲的に取り組んでいました。



例えば管理部門からは、評価制度の充実や各種手当の創設、職場環境の改善に加え、省エネ推進として、電子契約や広報物の電子配信の提案がありました。工事部からは、現場仮設シートに工事完成写真を貼ったり、建物データベース

の充実が提案されました。営業部からは地域への貢献を考えたお客様へのサービスや、新しく現場道具を考案した人もいました。

結果、建売の企画や「シンプル」というブランド力をより推進するエンブレムを考案した工事部・岩本グループが最優秀賞を勝ち取りました。今後の実現につなげていければと思います。



①パワーポイントでわかりやすくプレゼンテーションを行う管理部②最優秀個人賞を手にする岩本グループ係員は「建売企画」でアピール③辰のブランド力を示すエンブレム「シンプル」は施工物件に提示して宣伝効果をあげようというもの

「(仮称) 湯島 K ビル新築工事」
地鎮祭 2015年10月25日



アルミニウム会社の東京支店ビルです。外装にアルミニウムの横ルーバーが入る建物となります。

構造：S造
規模：地上4階
用途：事務所
設計：計画意匠研究所
完成予定：2016年6月

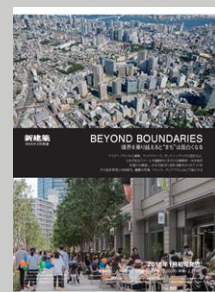
「(仮称) S 寺庫裡建替計画新築工事」
地鎮祭 2015年11月25日



由緒ある寺院の庫裡の建替工事が始まります。

構造：RC造
規模：地上5階
用途：庫裡
設計：エイエヌディーアソシエイツ一級建築士事務所
完成予定：2017年10月

光井純氏の事務所創設 20周年記念誌発行
『BEYOND BOUNDARIES』
境界を乗り越えろと「まち」はおもしろくなる



今月ご紹介した光井純氏の事務所の20年の歩みがまとめられました。ぜひ、ご覧ください。

(新建築 2016年2月別冊)
2016年1月初旬発売
和英併記/A4変型判/220頁
定価：3,000円(本体：2,778円)

編集後記

・新年あけましておめでとうございます。今年も「ShinClub」をよろしく願います。